

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団水利アプリ導入事業

自治体名

愛知県江南市

消防団名

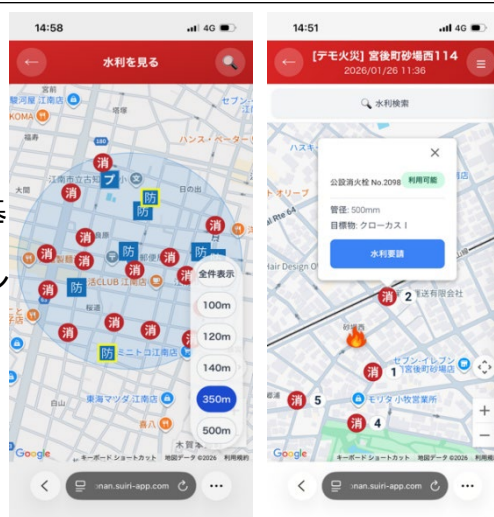
江南市消防団

1 事業の目的

消防団員が消防水利の把握に苦慮している実情や耐震性防火水槽が普及していること等を鑑み、消防水利に特化したアプリを開発して消防水利の把握に要する時間の短縮化、耐震性防火水槽の有効活用等を目的として消防団員の活動効率化及び震災対応能力の向上を図る。

2 事業内容

- プロポーザル審査委員会(第1回)
 - ・ 公募型プロポーザル実施要綱の確認
 - ・ 仕様書の確認
- プロポーザル審査委員会(第2回)
 - ・ プレゼンテーション審査における審査基準及び配点表の(案)の確認
 - ・ エントリー業者によるプレゼンテーション
- プロポーザル審査委員会(第3回)
 - ・ プレゼンテーション審査・再委託業者の選定
- 再委託業者との細目協議
 - ・ アプリの仕様についての細目協議(5回実施)
- 操作方法説明会
 - ・ 消防団員に対してアプリ操作方法の説明会(3回実施)
- アンケート調査
 - ・ アプリ導入後のアンケート調査



3 事業成果

- ・ 消防団員が自管区内外を問わず、市内全ての消防水利を確認することができるため、水利部署までの効率化が図れた。
- ・ 車内においてスマートフォン等を活用して消防水利までのルートを表示するため、同乗するナビゲーターがルートを容易に確認ができ、車両運行時の確実性、安全性が向上した。
- ・ 大規模地震を想定し、耐震性防火水槽などの情報をあらかじめアプリ内に情報を入れ、実災害時に絞り込み検索することにより、特定の水利を選択することができるため震災対応能力の向上が図れた。
- ・ 以前までメール・FAXで行っていた水利の新設、廃止、一時使用不能などの情報提供をアプリ内でリアルタイムで発信することができるため、業務負担の軽減に繋がった。
- ・ 本アプリに一本化し、従来の住宅地図への記載を廃止したことから、転記する煩わしさがなくなり、さらに住宅地図の更新コスト削減(84,000円/年)に繋がった。
- ・ 水利部署に不安を感じている消防団員の割合がアプリ導入前は97.3%であったのに対し、導入後は8.6%まで激減した。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
アプリ仕様検討会	回数	3回	5回	
操作方法説明会	回数	5回	3回	
アンケート調査	回数	1回	1回	

5 その他参考情報

担当: 江南市消防本部 消防総務課

Tel 0587-55-2250(直通) E-Mail soumu@city.konan.lg.jp